

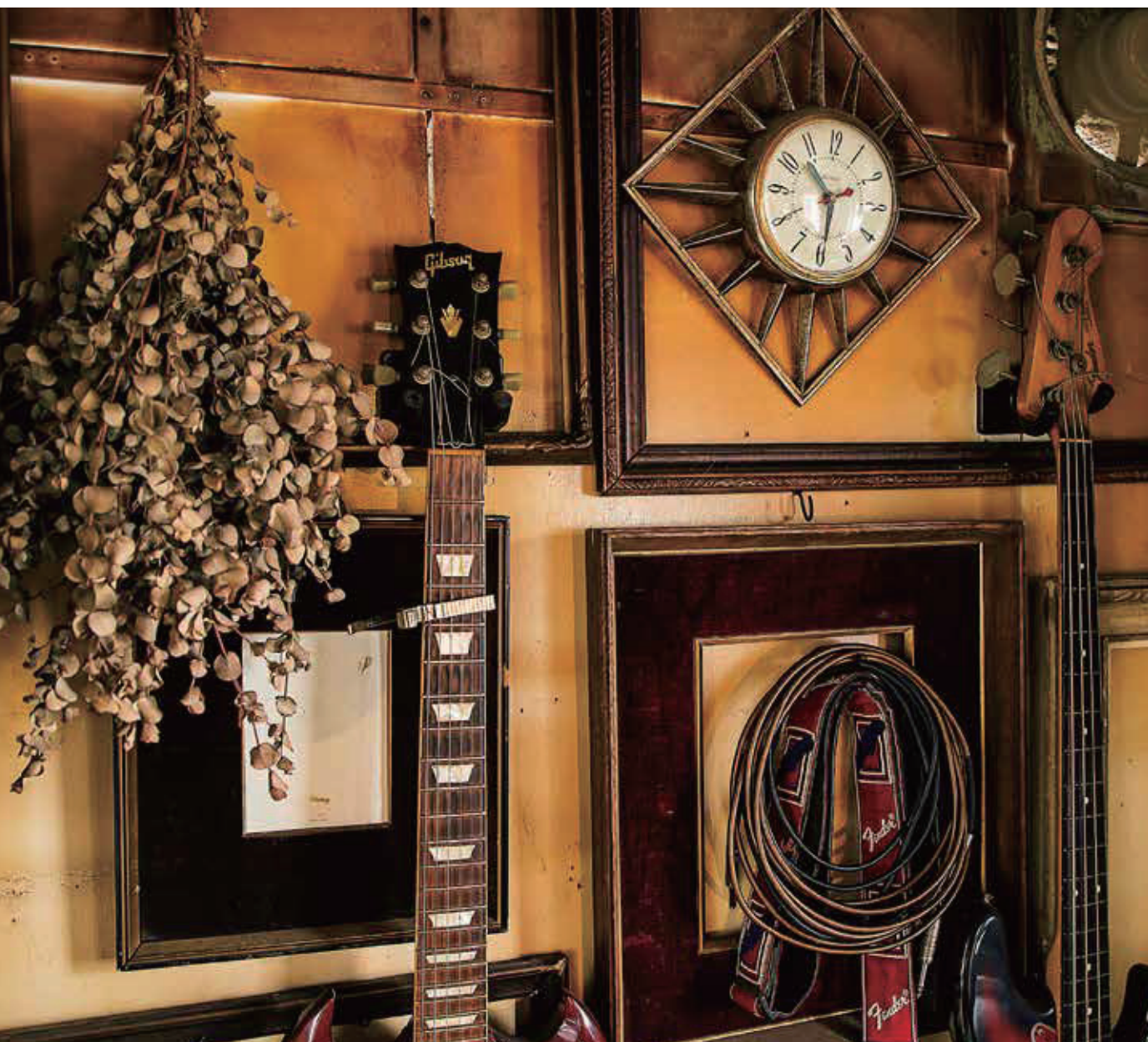
# m a e n o h a

maekawa living magazine まえのは

2022

— 初  
夏  
号

珈 琲 の ある、おいしい 暮らし。



# FLAT COFFEE

(立山町)

訪ねた人：前川 守

木の香 株式会社 前川建築 代表取締役

田んぼの真ん中で自家焙煎された  
コーヒーが紡ぎ出す空間と出会い。



田畑に囲まれた白いコンテナが印象的なフラット  
コーヒーの焙煎所。焙煎が始まると、コーヒー豆の芳  
ばしい香りがコンテナの外まで立ち上る。



富山では、この土地ならではの歴史や風土を受け継ぎながら、日々、新しいまちの魅力が創り出されています。前川建築のスタッフが、仕事や暮らしの中で出会った魅力的な方たちをご紹介しますこのコーナー。第1回は、立山町で自家焙煎珈琲店「フラットコーヒー」を営む平釜さんご夫妻を、前川建築代表の前川守が訪ねました。



空と山がどこまでも広がる立山町の田んぼの真ん中に、ぼつんと佇むコンテナ。ここは、フラットコーヒーのオーナー、平釜真吾さんが営む焙煎所。平釜さんはここで日々、コーヒー豆の自家焙煎を行っている。店の看板商品である「メガネブレンド」は、数種類の豆をブレンドした、いつでもブレない味わい。その他にも数種類、季節に合ったおすすめの豆を厳選して店に出している。

「フラットコーヒーという店の名前は、誰でも気軽に立ち寄れる店にしたいという思いを込めて付けました。コーヒーに詳しい方にも、そうでない方にも、ただ単純に、おいしいと感じてもらえたらうれしいです」と、平釜さんは語る。



欠点豆や異物を取り除くハンドピックは集中力のいる作業。朝に始めて気づけば夜ということも。

まちなかファームの常設カフェで、カウンター越しに会話が弾む平釜さんと前川。焙煎されたばかりの豆を使ったドリップコーヒーは、香り立ちが格別。

フラットコーヒーは、2013年にコーヒー豆の宅配やイベントへの出店を中心にスタートし、2018年、立山町の中心部にオープンした「立山まちなかファーム」内に初の常設店舗を開設した。店を切り盛りしているのは妻の瞳さん。開店から4年経った現在ではすっかり地域



コンテナの中には焙煎の道具と一緒に、使い込まれたミシンや音楽の機材、ヴィンテージ時計やカメラなど、平釜さんの好きなものが詰まっている。



平釜 真吾 Shingo Hiragama

富山市立山町出身。服飾学校を卒業後、自家焙煎珈琲店での修業を経て2013年にフラットコーヒーを開業。田畑に囲まれたコンテナハウスで自家焙煎した鮮度の高いコーヒー豆を販売。2018年より立山まちなかファームにてカフェの運営も行っている。



焙煎機の前で、コーヒー豆のはぜるパチパチという音を耳を傾ける平釜さん。音を頼りに豆の状態を確認し、温度や時間を調整する。

望するロケーションは誰もが羨む好立地だが、ここで生まれ育った平釜さんにとっては、ごく日常の風景だ。

前川建築が運営する一棟貸しの宿「桼の家」では、フラットコーヒーでその日の朝に焙煎されたコーヒー豆を使っている。2017年には桼の家で、平釜さんご夫妻の結婚パーティーが開催された。料理、ドリンク、音楽、手作りのドレスなど、すべてを自分たちの大好きなもの

で固めたパーティーの会場として、2人が選んだのが桼の家だった。「桼の家には、言葉にできない特別な魅力があると思います。古き良き日本家屋の魅力を活かしながら、現代的な雰囲気も感じられるあの独特の間が大好きです」と、平釜さんは称える。

前川は、平釜さんご夫妻とプライベートでも交流があり、業種は違っても立山を拠点に活動する者同士、通じるものがある

と感じている。

「立山のまちなかでは近年、古くから親しまれていた店が営業を終えるなど寂しいニュースもある一方で、フラットコーヒーさんのように新しい店が、街の人たちの新たな交流拠点として定着しつつあります。平釜さんの活躍をきっかけに、同世代の方たちがもっともっと集まって、これからの立山町と一緒に盛り上げてくれたらいいなと期待しています」。(前川)

今後の展望について、「将来的にはカフェを軸に、自分の好きなものを集めた空間を作りたいと思っています」と語る平釜さん。「コーヒーを飲みに来てくれた方たちに、作家さんが一点一点丁寧に作った洋服や小物を紹介したり、ミシンを置いて自由に使ってもらったりできたらいいですね。今はまだ構想段階ですが、コーヒーをひとつの入り口に、さまざまなライフスタイルを提案できる空間にしたいと思います」と、夢を語る。



店頭では焙煎されたばかりの新鮮なコーヒー豆が購入できる。どれを選ぶか迷う方には、一番人気の「メガネブレンド」がおすすめ。苦みや酸味が少なくて飲みやすい、この店の看板商品だ。

## FLAT COFFEE(フラットコーヒー)

〒930-0214  
富山県中新川郡立山町五百石100-3  
まちなかファーム  
Tel:080-4252-7351  
<https://shingo-kiyota.tumblr.com/>  
<https://www.facebook.com/flatcoffee>  
営業時間/10:00~17:00  
定休日/水曜日・木曜日  
駐車場/あり



フラットコーヒーが店を構える立山町のまちなかファーム。米粉パンやジェラート、地域の特産品なども販売されている。



店頭での接客は、大手カフェチェーンでのマネージャー経験もある妻の瞳さんが担当。気さくなやりとりを楽しみに通う常連客も多い。

に根ざした店となり、ここでコーヒーを楽しむ時間を、毎日の習慣にしている常連客も多い。「流行に関係なく、お客様の日常の中にこの店が、当たり前になり続けられたらいいなと思います」と、瞳さんは語る。

洋服が好きで服飾学校を出た平釜さんが、コーヒーの世界に足を踏み入れたのは20代の頃。行きつけだった自家焙煎珈琲店で様々な人たちと出会い、コーヒーが紡ぎ出す空間や、コーヒーがつながる人々との出会いに魅力を感じたという。飲む楽しみから、淹れる楽しみにも興味が広がった頃、岩瀬にあった古道具屋さんでコーヒーの焙煎にびったりな銀杏網に出合った。銀杏網を購入し、自分で焙煎したコーヒーを行きつけの店のマスターに飲んでみてもらっ

たところ、新店舗を出すから一緒にやってみないかと声をかけられたことが、現在の仕事につながっている。

この店で約3年間、焙煎や接客の経験を積んだ後、平釜さんは実家の敷地内にあったコンテナハウスを拠点に、自分の焙煎所を立ち上げた。立山連峰を一



2人は行きつけの居酒屋が同じで、一緒にお酒を飲むことも。立山で商売を営むもの同士、街の話題は尽きることがない。



5 May

| sun | mon | tue        | wed        | thu        | fri | sat |
|-----|-----|------------|------------|------------|-----|-----|
| 1   | 2   | 3<br>憲法記念日 | 4<br>みどりの日 | 5<br>こどもの日 | 6   | 7   |
| 8   | 9   | 10         | 11         | 12         | 13  | 14  |
| 15  | 16  | 17         | 18         | 19         | 20  | 21  |
| 22  | 23  | 24         | 25         | 26         | 27  | 28  |
| 29  | 30  | 31         |            |            |     |     |

6 June

| sun | mon | tue | wed | thu | fri | sat |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|     |     |     | 1   | 2   | 3   | 4   |
| 5   | 6   | 7   | 8   | 9   | 10  | 11  |
| 12  | 13  | 14  | 15  | 16  | 17  | 18  |
| 19  | 20  | 21  | 22  | 23  | 24  | 25  |
| 26  | 27  | 28  | 29  | 30  |     |     |

7 July

| sun | mon       | tue | wed | thu | fri | sat |
|-----|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|
|     |           |     |     |     | 1   | 2   |
| 3   | 4         | 5   | 6   | 7   | 8   | 9   |
| 10  | 11        | 12  | 13  | 14  | 15  | 16  |
| 17  | 18<br>海の日 | 19  | 20  | 21  | 22  | 23  |
| 24  | 25        | 26  | 27  | 28  | 29  | 30  |
| 31  |           |     |     |     |     |     |

8 August

| sun | mon | tue | wed       | thu | fri | sat |
|-----|-----|-----|-----------|-----|-----|-----|
|     | 1   | 2   | 3         | 4   | 5   | 6   |
| 7   | 8   | 9   | 10<br>山の日 | 11  | 12  | 13  |
| 14  | 15  | 16  | 17        | 18  | 19  | 20  |
| 21  | 22  | 23  | 24        | 25  | 26  | 27  |
| 28  | 29  | 30  | 31        |     |     |     |



1 キッチンカウンター下のオープン収納が印象的なダイニング。棚の一部を家族の写真コーナーに。2,3 天気の良い日は、ギャッペの座布団を縁側に並べてひと休み。いつもと同じおやつも外で食べれば子どもたちが大喜び。入居後に広いウッドデッキを増設したことで、リビングからひと続きの寛ぎ空間が広がった。4 ダイニングの照明は、飛騨高山のガラス工芸作家、安土草多さんのもの。柔らかな電球の光が空間にマッチ。5 季節の花が映えるスタイリッシュな来客用玄関。散らかりがちな家族の靴は、壁の右側にあるファミリー玄関に。



### tips:1

キッチンに立つ奥様の姿がよく見える階段は、お子様たちのお気に入りの場所。手すり越しに感じる視線が愛おしい。

## あ の 家 の 住 ま い 方

富山市・K様邸

2019年新築

ガラス作家さんの照明、オーダーメイドのチェスト、ギャッペの絨毯など、センスの光る家具や雑貨が住まいの中にしつくりと調和しているK様邸。あたたかみのある空間から、好きなものを大切に使い続ける丁寧なライフスタイルが伝わってくる。部屋の片隅にある木の椅子は、奥様が中学生の頃にお小遣いを貯めて購入したもの。実家で過ごした中高生の頃から、一人暮らしを経て、結婚後の今もずっと奥様の暮らしと共にある。寝室のチェストは結婚後にオーダーメイドした一点もの。実は最近、お子様がよじ登って取っ手がとれてしまい、修理から戻ってきたばかり。いつもの場所にたえずむチェストがふと目に入るたびに、ほっと、うれしい気持ちになるという。

気性の高い構造のため、室内で調理をしても匂いが残りにくく、家族でホットプレートを囲む機会が増えた。入居後に追加施工し、家族で塗料を塗ったウッドデッキも、プールに、雪遊びに、バーベキューにと大活躍している。家での楽しみがぐんと広がり、以前はお出かけ派だったお子様たちも、自宅で過ごす休日を満喫しているという。平屋の暮らしに憧れがあり「いずれ子どもたちが独立したら、1階だけで暮らしたい」と語るご夫妻。その想いを実現するために、2階には子供部屋だけを配置し、1階のみで生活が完結できる間取りになっている。コンパクトにまとまった家事導線や、お気に入りの食器に手が届くオープンな収納も、暮らしをスムーズにしてくれる。審美眼の高さが随所に光る、K様邸。ぬくもりのある空間が、時間の経過と共に、さらなる輝きを増していく。



### tips:2

やちむんと呼ばれる沖縄の器など、少しずつ買い集めた選りすぐりの食器を見せる収納に。扉がないのでさっと手が届いて、使い勝手も抜群。



### tips:3

引っ越し前の住まいから使い続けているオーダーメイドのチェスト。あたたかみのある木の質感が、新居の雰囲気にもしつくりと馴染んでいる。

## スタッフ紹介

MAKEAWAグループスタッフたちに、休日の過ごし方や、今こだわっていることを聞きました。

Hori Rika  
堀 里圭

● 設計部リーダー

剣岳のふもとで育ち、今でも美しい山や風景を見るたび感動します。中学生の頃に住宅の設計がしたいと思い、前川建築で夢を叶えることができました。お庭や畑のある豊かな暮らし方を提案するとともに、代々受け継ぐことのできる住宅や土地の活用策のご提案を通して、地域の里山を少しでも残すことができればいいなと思っています。家ではできるだけリラックスして過ごせるように、たくさんのグリーンを置いています。休日は、観葉植物の手入れやガーデニング、犬の散歩を楽しんでいます。

大好きな古道具と  
たくさん  
グリーンに囲まれて



私のこだわり

古いものが好きで、古道具や器を集めています。写真は愛用している左利き用キッチン用品。左利き用の道具も見つけるとつい買ってしまいます。

Matsushima Junya  
松島 純也

● 営業アドバイザー

以前は前川建築の協力会社で仕上げる工程を担当していましたが、家づくりに最初の段階から携わりたいと思い、営業アドバイザーになりました。いまはコロナ禍でなかなか開催できないのですが、お世話になったお客様と再会できる感謝祭をとっても楽しみにしています。みなさまの住まいの住み心地を、ぜひ教えていただきたいです。休日は、アニアという動物フィギュアが大好きな息子と一緒に動物園に通っています。「まずはやってみる」の精神で、仕事もプライベートもポジティブに楽しんでいます！

休日は息子と動物園！  
キャッシュレスで  
身軽に出かけたい



私のこだわり

キャッシュレス決済を活用し、財布を持たずにスマホと小銭入れだけを使っています。紙幣を少しだけ持ち歩ける、マネークリップのようなスマホケースを探しています。



住宅の材料として多く使用されている杉の特性をより快適に実感してもらえる杉フロア。一番の特徴は繊維の空気層が大きく、調湿効果が優れていること。夏はサラッと、冬はほんのり暖かい。他の木材に比べ、軽く柔らかい杉は傷がつきやすいのが悩み事。でもご安心を！自分でできる杉フロアの直し方を紹介します。

- 【用意するもの】
- ☐ 水の入った霧吹き
  - ☐ タオル
  - ☐ アイロン(スチーム機能があるとグッド！)



### 凹み直しの手順

- ① 凹みにタオルを当てます。
- ② 霧吹きを3～5回ほどプッシュし、タオルをしっかり濡らします。
- ③ 十分に温めたアイロンを当てます。洋服のシワを伸ばすように上下左右に動かします。
- ④ タオルをめくり凹み具合を確認します。

i n f o r m a t i o n



里山マウンテンバイクツーリズム

冒険シーズン到来！

2022年 4/17(土)・11/13(日)

半日、1日からコースを選択。1ツアー8名まで。



立山町から上市町にかけて広がる田園地帯をe-MTB®で駆け抜ける、誰もが子どもに戻ってしまう冒険ガイドツアー「里山マウンテンバイクツーリズム」。今年のツアーがスタートしました。「里山巡り」から「本格的なトレイル」まで、ご希望に合わせてガイドがツアーを組み立てます。e-MTBの電動アシスト機能で、年齢や体力を気にせず里山トレイルが楽しめます。e-MTBはレンタルのみもご利用いただけます。

ご予約・詳細は  
Webサイトにて



※e-MTB = 電動アシスト機能の搭載された「Eマウンテンバイク」

## 編集後記

リニューアルしたmaenoha、いかがでしたか？

今までとは内容を一新して読み応えのある冊子に仕上げました。  
前川建築から皆さまへ「暮らしを彩るプレゼント」として、イラスト  
付きのカレンダーもお付けしています。こちらは富山県在住のイ  
ラストレーターおざわさよさんに描き下ろしていただきました。  
カレンダーとして使った後は、好きなフレームに入れて飾るもよ  
し。毎月ステキな1枚をお届けしますので、そちらもお楽しみに。



m a e n o h a      2022 初夏号

2022年5月1日発行

企画／まえのは編集部

編集／河岸 素子

取材・文章／中山 由貴

写真／松井 洋貴

イラストレーション／おざわ さよこ

エディトリアルデザイン／三浦 由佳（ワークス）

発行／MAEKAWAグループ

〒930-3221 富山県中新川郡立山町四谷尾691-4

Tel : 076-462-0611

<https://www.konoka-maeken.jp/>

